

政策目標Ⅱ

だれもが生き生きと 健やかに暮らせる地域の創造

〔基本方針〕

健康に対する意識を高めるとともに、スポーツや生涯学習を通じて創造性や夢を育み、生き生きと健やかに暮らせる多摩六都を実現します。

アクション

4

健康的な暮らしを支援する

1

健康づくり・体力づくりの支援

2

圏域で連携した疾病予防・健康管理の促進

アクション

5

知性と感性を豊かに育む多摩六都

1

多摩六都科学館の効果的・効率的な運営

2

共催事業・施設相互利用の推進

多摩六都科学館



【現状と課題】

- 平成元年から多摩六都スポーツ大会を実施するとともに、平成18年4月には構成5市による屋内体育・スポーツ施設の個人開放の相互利用を開始し、多摩六都スポーツ施設ガイドブックを発行するなど、利活用を圏域住民に呼びかけています。
- 競技スポーツ、生涯スポーツの両面から、圏域住民のスポーツ活動の一層の活性化を図っていくことが求められます。
- 健康で生き生きと暮らしていくことは、すべての住民の願いであり、各市では、スポーツによる健康づくりを図るため、各種教室・イベントの開催や、指導者や団体の育成、施設の整備・維持管理などを計画的に実施しています。
- 各市と、各市の医師会や、東京都などの関係機関で「東京都北多摩北部保健医療圏^{*}地域保健医療推進プラン」を策定し、地域保健医療施策の広域連携を進めています。
*保健医療圏：市町村を単位に構成する一次医療圏に対して、広域的な医療需要に対応するために医療法で規定された二次医療圏を東京都が保健部門との連携を含め保健所管内ごとに設定している。
- 新型インフルエンザ流行の際には、構成5市と東京都が連携し、5市で統一的な対応を図り、蔓延防止に努めました。また、「平日準夜間小児救急診療事業」「脳卒中医療連携事業」など、医療面でも広域連携に取り組んでいます。
- 心身ともに健康に暮らすことは、私たちの願いであり、健康に対する意識も高まっています。各種事業により圏域住民の疾病予防・健康管理を支援していくことが求められます。

めざすべき方向性

○市域を越えた住民のスポーツ活動への対応

スポーツの分野では、圏域住民は市域を越えて活動しているため、連携を図り、市民の利便性の向上を図っていきます。

○複雑化する健康課題への広域的な対応

感染症対策や自殺対策など、緊急性を要する課題や複雑・多岐にわたる課題については、東京都との連携のもと、広域連携・協調による対応を強化していきます。

事業展開

1 健康づくり・体力づくりの支援

◆「スポーツ祭東京2013」を契機としたスポーツの広域連携の促進

平成25年度の「スポーツ祭東京2013」（第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会）を東京都・区市町村一丸となって成功させます。大会前後を通じ、選手・サポーターの育成や、競技場の整備を図り、市民スポーツの土壌づくりなど生涯スポーツ社会の実現に努めます。

スポーツ祭東京2013

スローガン

東京に 多摩に 島々に 羽ばたけアスリート

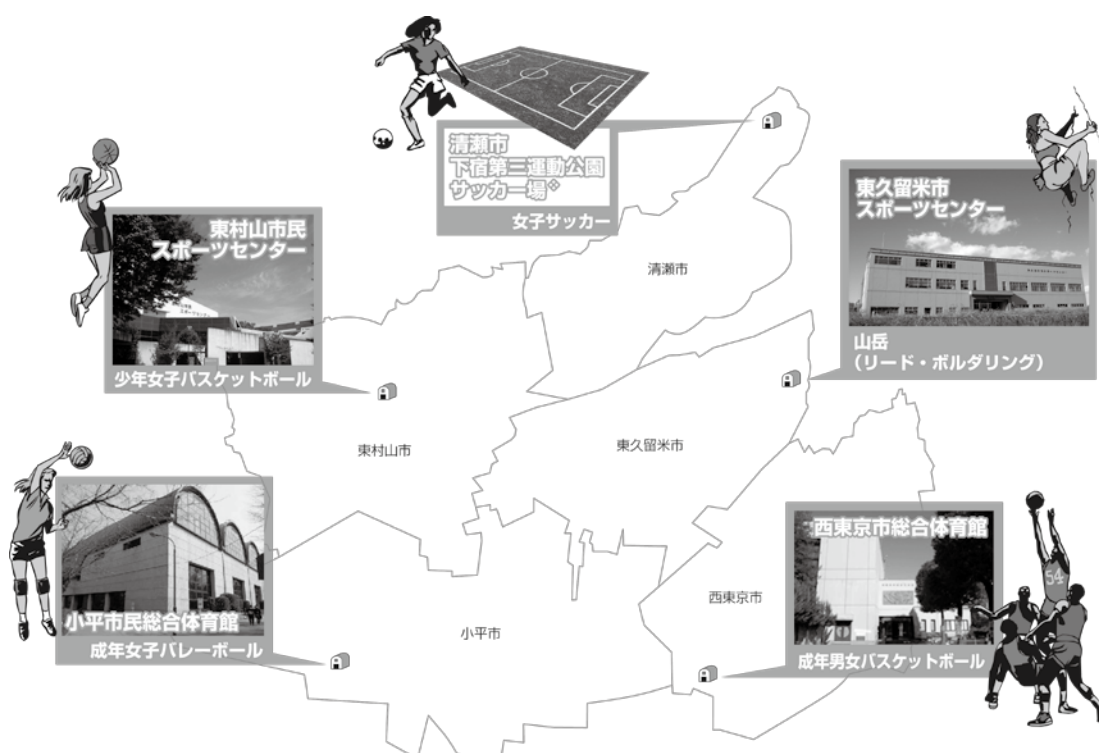
ゆりかもめをモチーフにした
マスコットキャラクター
「ゆりーと」



会 期

平成25年9月28日(土)～10月14日(月)

競技種目と開催会場



❖清瀬市下宿第三運動公園サッカー場は「スポーツ祭東京2013」の開催に向けて今後整備される。

◆共同スポーツイベントの推進

多摩六都スポーツ大会など、共同イベントを引き続き推進します。また、「スポーツ祭東京2013」の各市開催競技の継続的な振興を図るため、「スポーツ祭東京2013」以降の多摩六都スポーツ大会など、イベント展開のあり方を工夫していきます。

◆スポーツ施設ガイドの更新

圏域内の公共スポーツ施設の相互利用の一層の推進を図るため、多摩六都スポーツ施設ガイドによる継続的な周知により、誰もが身近に情報を得られる発信を行っていきます。

2 圏域で連携した疾病予防・健康管理の促進

◆地域保健医療施策における連携促進

圏域住民が身近な地域で適切な医療が受けられるように、北多摩北部保健医療圏を構成する各市や医師会、保健所、病院等が連携し、切れ目のない医療連携体制の維持・確保を進めます。

◆感染症対策の推進

感染症対策は、感染が懸念される地域が共同歩調をとりながら行う必要があることから、東京都をはじめ、地域に密着する地区医師会、医療機関、保健所、構成5市が密接な連携を図りながら、迅速かつ的確な感染拡大の防止対策を進めます。

◆心の健康づくり・自殺対策における連携促進

近年、社会問題化している心の健康づくり・自殺対策については、保健所と構成5市が連携しながら、地域の現状把握に努めるとともに、自殺のサインに気づき、見守り、必要に応じて関係する専門相談機関へつなぐなどの役割が期待される「ゲートキーパー^{*}」を圏域で育成するなど、相談支援対策の強化を図ります。

※ゲートキーパー：直訳すると門番。自殺予防の分野では、自殺を食い止める役割の専門職の呼称である。

多摩六都の主な保健医療関係施設



公立昭和病院



公立昭和病院は、昭和3年7月に関係町村により設立され、現在は、小金井市、小平市、東村山市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市及び西東京市により組織されている一部事務組合（昭和病院組合）が運営しています。

実行計画

項目	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	到達目標
「スポーツ祭東京2013」を契機としたスポーツの広域連携の促進	人材育成・施設整備	人材育成・施設整備・リハーサル大会の開催	「スポーツ祭東京2013」開催	継続的な振興	継続的な振興	「スポーツ祭東京2013」を通じたスポーツ人材の育成
共同スポーツイベントの推進	→ 検証・ リニューアル検討	→ リニューアル	→	→	→	魅力的な共同イベントの展開
スポーツ施設ガイドの更新					→	圏域住民の施設ガイドの有効活用
地域保健医療施策における連携促進	検討		次期プラン		→	医療体制の構築
感染症対策の推進					→	感染症の予防の徹底
心の健康づくり・自殺対策における連携促進					→	自殺者の減少

数値目標

項目	現況値(21年度)	目標値(27年度)	設定の根拠
スポーツ施設利用者数	247.7万人	255.1万人	3%の増をめざす
構成5市を中心とする広域的な保健・医療体制等の構築	3事業	9事業	「東京都北多摩北部保健医療圏地域保健医療推進プラン」による

【現状と課題】

- 次代を担う子どもたちの夢を育み、科学に興味を持つ心を養うとともに、各世代にわたる生涯学習を推進し、文化の振興を図ることを目的に、平成6年から多摩六都科学館組合による「多摩六都科学館」の運営管理を行っています。
多摩六都科学館は、5つのテーマの展示室に約100点の体験型科学展示を持つほか、世界最大級のドーム径を誇るプラネタリウムと大型映像システムを備え、これまで圏域内外から200万人の方が来場しています。
開館から17年が経過し、圏域72万人をはじめとする利用者の期待と要望に応じていくために、さらに魅力ある企画を立ち上げ、展開していくことが重要です。
- 生涯学習施策は、各市がそれぞれ、教室・イベントの開催、指導者や団体の育成、施設の整備・維持管理などを計画的に実施しています。
- 文化事業としては、圏域住民を対象とした多摩六都フェア（昭和63年度から名称・手法を変えながら継続）や各市図書館の相互利用（平成3年10月～）などを実施してきました。
- 圏域住民が科学の進歩や社会の変化に対応し、常に新しい知識や技術を習得していけるよう、また、健康的に生き生きと暮らせるよう、生涯学習活動への支援を充実していくことが求められます。

こだいら合唱団演奏会



めざすべき方向性

○多摩六都科学館に対する圏域住民の期待・要望への対応

多摩六都科学館は、全国唯一の広域行政による科学館であり、今後も圏域の中心施設として運営して科学に触れる機会を積極的に作り出し、知識、情操を育む総合的な学習活動が行えるよう支援していきます。

○交流による広がりのある文化醸成

各市での施策のほか、市域にとらわれない文化交流により、多摩六都の文化醸成を図っていきます。

事業展開

1 多摩六都科学館の効果的・効率的な運営

◆多摩六都科学館の魅力向上

開館から17年が経過し、科学技術の進歩とともに、展示内容の更新の必要性が生じていることから、創意・工夫あふれる魅力的な科学館づくりを支援します。

◆地域連携の促進

地域ボランティアや、大学や公的研究機関、企業等と連携するとともに、アウトリーチ活動（館外活動）、科学講座を強化するなど、地域に根ざした科学館づくりを働きかけます。

◆民間活力の導入

管理運営については、指定管理者制度を導入して、展示内容とプラネタリウムとの一体的な企画・運営を行うなど、経費の削減や事業運営の効率化を促進します。

太陽の熱で浮き上がる熱気球実験のようす



スペースシャトル「エンデバー」の実物大模型



2 共催事業・施設相互利用の推進

◆多摩六都フェアの実施

多摩六都フェア事業など、市域を越えた文化事業を実施し、圏域住民の文化交流を図ります。また、既存の事業については、検証・見直しを行い、時勢に応じた魅力ある企画内容の実施に努めます。

◆図書館の相互利用の促進

図書館の相互利用の一層の促進を図るため、必要な情報の提供に努めます。

多摩六都フェア事業の一覧(22年度)

事業名	実施主体
こだいら合唱団演奏会	小平市
圏域美術家展	小平市
ヤング・ダンスフェスティバル	小平市
フレッシュコンサート	東村山市
ヤングライブフェスティバル	東村山市
高校生写真展	清瀬市
ぴゅああーと展	東久留米市
スポーツ大会(ゲートボール)	東久留米市
課題別ワークショップ	西東京市
水と緑ウォッチングウォーク	西東京市

実行計画

項目	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	到達目標
多摩六都科学館の 魅力向上	プラネタリウム 機器更新	常設展示 一部更新				来館者数の増加
多摩六都科学館の地域 連携の促進	アウトリーチ 活動等の展開	アウトリーチ 活動等の展開	アウトリーチ 活動等の展開	アウトリーチ 活動等の展開	アウトリーチ 活動等の展開	地域に根ざした 科学館づくり
多摩六都科学館の 民間活力の導入	指定管理者 制度導入準備	指定管理者 制度導入				効率的な運営
多摩六都フェアの実施	実施・検証					魅力ある事業による 圏域住民の交流
図書館相互利用の促進						相互利用者数の 増加

数値目標

項目	現況値(21年度)	目標値(27年度)	設定の根拠
多摩六都科学館の入場者数	14.5万人	16万人	魅力を向上させ、 来館者数を増やす
多摩六都の他市の図書館で 年に1回以上貸し出しを 受けた人数	18,168人	20,000人	10%程度の増をめざす